

番号	1	対象年齢層 (学年)	小学校5、6年生
カテゴリ1 (大分類)	外国人	カテゴリ2 (小分類)	偏見、差別的取扱い
タイトル	外国人と人権～違いを認め、共に生きる～ (家庭、地域で見られる偏見や差別)	難易度	中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型、島型		
ねらい	<p>・国際化の時代の進展に伴い、地域や学校の中での多文化が進み、多様な人々が共に暮らす社会となっている。外国人に対する偏見や差別をなくし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのか学ぶ。</p>		
教材の 内容	<p>①DVD「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～」(約8分) (家庭、地域で見られる偏見や差別) ※ YouTubeによる視聴も可能 (https://www.youtube.com/watch?v=quDjCcdLqkw&list=PLSmkcN62qni5XIo3lhZ7CEnLTgOkR9xk4&index=16)</p> <p>②内容 住宅街のごみ集積所で、地域の住民が、2か月前に越してきた外国人の家族についてうわさをしている。ごみ出しのルールや、夜の大声などの問題で迷惑になっているというのがその内容だ。住民は大家に苦情を言いに行く。しかし、実際に会って話をすることで、誤解が解け、少しずつ外国人一家と地域住民は打ち解けていく。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～」(家庭、地域で見られる偏見や差別)、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー(またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、黒板(ホワイトボード)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（外国人差別、偏見）について 	
展開	8分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～」(家庭、地域で見られる偏見や差別)を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がないか確認する。プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	7分	内容の振り返り① (記入)	外国と日本の文化の違いや登場人物の心情を考えるために、ワークシートを配布し、記入してもらう。	
	15分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>グループに分かれ、ワークシートの問いに関して、自分が考えた意見を話し合う。</p> <p>その後、グループの代表者に発表してもらう。</p>	
まとめ	8分	本日のまとめ	<p>◆本日の内容の総論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化を認め合い、尊重し、互いに助け合いながら、共に生きていく社会として「多文化共生社会」についての理解を深めることの大切さを伝える。 ・お互いを理解し、尊重する。 ・互いの違いを認めて大切にする。 <p>◆「子どもの人権110番」、「SOSミニレター」、「LINE人権相談」、「# No Heart No SNS (※)」(https://no-heart-no-sns.smaj.or.jp/)の紹介</p> <p>※法務省が、総務省やSNS事業者団体と共同して取り組んでいる、SNS上のやり取りで悩む方に役立てていただくための特設サイト</p>	

番号	2
----	---

対象年齢層 (学年)	小学校5、6年生
---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	勇気のお守り		難易度 中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめが人権侵害であることを理解してもらう。 ・一人一人が大切な存在なんだと気付いてもらう。 ・相手の気持ちに気付き、お互いを思いやることがいじめの解決へつながることを認識してもらう。 ・悩み事を友だちやお家の人、先生、人権擁護委員（電話・SOSミニレター等）に相談すると、自分一人では思いつかない解決方法が見つかるかもしれないことを理解してもらう。 		
教材の 内容	<p>①DVD「勇気のお守り」（約16分） ※ YouTubeによる視聴も可能 (https://www.youtube.com/watch?v=qRiT0G3S7BQ)</p> <p>②内容 転校生の林太郎に対し、早速あだ名を付けるクラスメイト。そんな中、「人権について考えよう」をテーマにクラスで人権教室が行われ、こどもたちに「人権擁護委員」と「子どもの人権SOSミニレター」の存在を教える。ある日、いじめのきっかけとなる事件が起きる。ささいなことでこどもたちは敏感に反応し、様々な行動を起こす。しかし、SOSミニレターに勇気をもらい、自分の気持ちを素直に伝えられるようになった林太郎。クラスメイトと共に音楽発表会に望む。みんなが笑顔で終わるエンディング。 (タイトルの「お守り」は、林太郎がお母さんからもらった「お守り」と人権擁護委員からの「SOSミニレターの返事」のことを指す。)</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「勇気のお守り」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、黒板（ホワイトボード）、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて	はじめに (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ (いじめ) について、話の概要	
	16分	人権啓発DVD鑑賞	DVD「勇気のお守り」を上映する。 ※観にくい生徒がいないか確認する。プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。	
展開	8分	内容の振り返り① (意見交換1)	登場人物の気持ちや行動に対しての自分の意見や考えを発表してもらう。 〈話し合い例〉 ・いじめられている人 (林太郎) の気持ちを考える。 ・いじている人 (翔) の気持ちを考える。 ・まわりの人 (優子、洋平、未唯) の気持ちを考える。	
	3分	内容の振り返り② (意見交換2)	先生、家族、人権擁護委員など、大人に相談することについての自分の意見や考えを発表してもらう。 (林太郎の行動の変化について)	
	8分	内容の振り返り③ (記入・発表)	いじめをなくすためにはどうしたらよいか、自分の考えをワークシートに記入してもらい、何名かの生徒に発表してもらう。	
まとめ	5分	本日のまとめ	◆本日の内容の総論 ・いじめの防止を考える。 ・相手の気持ちを考える。 ・あなたなら何ができるか・・・「いじめはやめよう！」と言える勇気を持つ。 ・一人で悩まず相談相手を見つける。 ・自尊のこころと相手を認めるこころを育てる。 ◆「子どもの人権110番」、「SOSミニレター」、「LINE 人権相談」、「# No Heart No SNS (※)」 (https://no-heart-no-sns.smaj.or.jp/) の紹介 ※法務省が、総務省やSNS事業者団体と共同して取り組んでいる、SNS上のやり取りで悩む方に役立てていただくための特設サイト	

番号	3
----	---

対象年齢層 (学年)	小学校5、6年生
---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	自分の胸に手を当てて		難易度 中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめは人権侵害であることに気付く。 ・相手の気持ちに気付き、お互いを思いやることがいじめをなくすために大切であることを理解する。 ・先生や保護者、人権擁護委員などの大人に相談することで問題の解決につながることを知る。 ・インターネットを利用するときには、普段の社会生活と同じようにマナーが必要であることに気付く。 		
教材の 内容	<p>①DVD「自分の胸に手を当てて」(約15分) ※ YouTubeによる視聴も可能 (https://www.youtube.com/watch?v=JRCK4LV4puw)</p> <p>②内容 掲示板への心ない書き込みをきっかけに、不登校になるクラスメイトの優子。 そして、書き込みをした未唯もネットいじめのターゲットとなっていく。 洋平は相談電話でアドバイスを受ける。 また、先生の「クラス全員で話し合おう」という提案でクラスでの話し合いとなった。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「自分の胸に手を当てて」 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、黒板（ホワイトボード）、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて	はじめに (1)始まりの挨拶 (2)人権擁護委員及び活動の紹介 (3)「人権」について簡単なお話 (4)本日のテーマ（いじめ）について、話の概要	
展開	15分	人権啓発DVD鑑賞	DVD「自分の胸に手を当てて」視聴 ※観にくい生徒がいないか確認する。プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。	
	20分	内容の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板に書き込まれた人は、どんな気持ちだったでしょう。 ・掲示板に書き込んだ人の気持ちは、どんなだったでしょう。 ・洋平君は、なぜ人権擁護委員の古橋さんに相談しましたか。 ・インターネットを使うにあたって気をつけなければならないことはどんなことでしょうか。 ・いじめをなくすにはどうしたらよいでしょうか。 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<p>◆本日の内容の総論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめを見たとき、どう行動するか確認する。 →黙って見ていたり、一緒に笑っていたりしていけない。 いじめを見たり聞いたりしたら、大人に相談する。 ・普段からいじめを起こさないためにすることを確認し行動につなげる。 →普段から相手の良いところを見つける。 <p>◆「子どもの人権110番」、「SOSミニレター」、「LINE人権相談」、「# No Heart No SNS（※）」(https://no-heart-no-sns.smaj.or.jp/) の紹介 ※法務省が、総務省やSNS事業者団体と共同して取り組んでいる、SNS上のやり取りで悩む方に役立てていただくための特設サイト</p>	